

科 目 名	英語コミュニケーション I	理数科 1年次 5単位中3単位
目 標	現代社会を捉えた題材で、言語の使用場面を考慮し、四技能五領域を総合的・統合的に学習する。またコミュニケーションに必要となる、英語の基本的な表現力を身につけ、論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとする。	
位 置 づ け	中学校3カ年で学んだことを基礎にして聞く・話す・読む・書くといった言語活動を多様な場面において経験しながら、学習内容を定着させていく。	

■使用する教材 ・LANDMARK English Communication I ・必携英単語 LEAP ・ハンドアウト ほか	■学習する単元とおおよその時期 L1 Enjoy your journey (4月) L2 Curry travels around the world (5月) L3 School uniforms (6月) L4 Eco-tour on Yakushima (7月) L5 Bailey the facility dog (9月) L6 Communication without words (9月) L7 Dear world: Bana's war (11月) L8 The best education to everyone, (11月) everywhere L9 Space elevator (1月) L10 Friendship over time (2月／3月)
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ・予習:教科書に関するハンドアウトを活用し、新出単語・熟語の定義、用例や、本文の概要を把握する。Writing に関してはテキストの問題に取り組む。 ・授業:ハンドアウトを活用した理解、定着、本文に関連する意見を交流。Writing, Listening は、テキストの内容に関する理解、定着、活用。 ・復習:学習した項目の定着、活用。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。	学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。
	B 学習した知識や技能に関して、ある程度、正確に用いられる。	学習した事項の概念を、状況に応じて活用し、ある程度、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。
	C 上記が達成できていない。	上記が達成できていない。	上記が達成できていない。
評価の場面	単元テスト	単元テスト、パフォーマンス課題(エッセイライティングなど)	小テスト、授業中の参加態度や意欲

単元テスト実施予定

- | | |
|---------------|-----|
| ① Lesson 1～2 | 6月 |
| ② Lesson 3～4 | 9月 |
| ③ Lesson 5～6 | 11月 |
| ④ Lesson 7～8 | 1月 |
| ⑤ Lesson 9～10 | 2月 |

■領域ごとの授業時間数について

	L10 Friendship over time							
	L9 Space elevator							
	L8 The best education to everyone, everywhere							
	L7 Dear world: Bana's war L6 Communication without words							
	L5 Bailey the facility dog							
	L4 Eco-tour on Yakushima							
	L3 School uniforms L2 Curry travels around the world							
	L1 Enjoy your journey							
単元名								
聞く	2	4	2	3	4	3	3	3
読む	2	4	2	3	4	3	3	3
書く	2	4	2	3	4	3	3	3
話す（やりとり）	2		2		4		3	
話す（発表する）		4		3		3		3

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください